

情熱

J R 東 労 組 大 宮 地 本 青 年 部
発 行 責 任 者 畠 山 豪 部
編 集 責 任 者 教 宣 部

No.005 2022年11月03日



これが年末手当に向けた
青年部員の声だ！！



～労働実感②～



・ユニット活動など、本来業務の幅を超えた業務が求められているが、安全レベルの低下が避けられない。安全レベル、サービスを維持できないのなら、柔軟な働き方改革は実現不可能に近いと思う。

・現場に全て蹴寄せが来るため、現場社員はギリギリの人数で検査等をこなしているような状態。



・連休だと毎回のように休出の依頼がある。用事があっても断りづらい。



・コロナが収まりつつあるとはいえ、コロナ禍で行ったコスト削減の取り組みは続けており、コロナ前と比べ労働量は増えたままである

・どの施策も見切り発車感がある。やってみよう精神は大事だが、社員の希望や気持ちを蔑ろにし過ぎているように思える。

社員の悲痛の叫びに耳を傾け、
会社は満額回答をするべきだ！！

